

信楽園病院だより

100号 平成21年7月1日 発行

〒950-2087 住所 新潟市西区新通南3丁目3番11号 Tel 025-260-8200

FAX 025-260-8199

E-mail main@shinrakuen.com ホームページアドレス <http://www.shinrakuen.com>

リハビリ紹介1

「目標は高く！！」

リハビリテーション科主任
理学療法士 樋口 徳明



信楽園病院の理学療法士という職に就き、患者様のお手伝いをさせて頂くようになってから、かなりの年月が経ちました。その間多くの患者様との出会いがあり、患者様から沢山の事を教えて頂きました。それはどれも大切な思い出であり経験となっています。今回はAさんとのリハビリの思い出の理学療法を中心に紹介させて頂きます。

私が就職して数年目に担当させて頂いたAさんは、元々左足部を切断しており少し不自由を感じるような歩きをしていました。そこに脳出血を発症し、重症な左片麻痺・左半側無視などが生じてしまいました。当初は寝たきりで、ほとんどのスタッフの予後予測が『介助で車椅子乗車出来るが、一人で歩くことが出来ない』というレベルのものでした。

しかし、担当者である私の目標は『実用的な杖歩行』でした。

周りからは若さゆえに理想が高く現実離れしているように見られたかもしれませんが、私にはそれは全くの夢ではなく、患者様と心を合わせて頑張れば、実現可能なことと思われたのです。患者様ご自身のリハビリへの意欲も支えになりました。麻痺側の促通、感覚入力、麻痺側の動作参加の誘導、日常生活動作・基本動作の指導、義足装具の検討等、患者様・ご家族と一緒にリハビリを重ねていきました。また当時は医療制度が今と異なり、じっくりと入院リハビリを行うことが出来たのも幸いだと思います。リハビリ・治療の結果、発症8ヶ月後の退院の日には、患者様は義足装具と一本杖で歩行出来るまでに回復されたのです！！

もしあの時、『介助で車椅子』を目標としていたら、目標以上の回復はなかったかもしれません。必要なときには、トップアスリートのように高い目標を持ってリハビリを開始し、回復状況を考え徐々に現実的な目標設定に修正していくのも大切と考えます。『目標は高く！！』

誰一人として同じ症状・同じ環境・同じパーソナリティの方はおられません。信楽園病院リハビリテーション科では、患者様お一人お一人に合わせて、リハビリスタッフみんなで一丸となり目標に向かって、入院から退院後の生活、更にはその方の生涯において、お手伝いや助言を今後とも行って参ります。